



17 区 | 関根・松塚 行政区

地理



東西に約 2km、南北に約 1km 程度の比較的小さな地区。行政区の中央を東西に新田川が流れている。他の行政区と比較して高い山も少なく、中央部には水田が広がっている。村のほぼ中央に位置している。

行政区名は「関根」「松塚」の 2 地区が集まったような形になっているが、長く一体のものとして運営されている。「関松（せきまつ）」とも呼ばれている。

文化・生活

「関」の由来は、中世に新田川の水を「堰（せき）」止め水田を開いたことに由来すると考えられている。地区の集会場のそばにある神社に年に一度、10 月ごろに集まり、例祭を行っている。地域のほとんどの人が集まって、神主さん呼んで拜んでもらい、終わった後に集会場で集まって食事をしてきたが、遠方から来ており、飲酒もできないことやコロナ禍もあり様子も変わっているようである。新年会や 3 月下旬には行政区の総会を行っており、総会は現在でもほとんどの世帯が参加している。予決算や事業決め、報告が行われている。加えて、年に 3 回役員会が開かれる。行政区は部会に分かれて運営されている。現在は広報部と衛生部が、以前は加えて納税部、体育部、産業部、保健部、防災部、教育・文化部、建設部、生活婦人も置かれていた。



佐藤建夫 行政区長

飯館の農家で育った。長男ということもあり、跡を継ぎ、葉タバコや田んぼを中心に農家をしていた他、冬場は建設業に携わっていた。現在でも、自宅前の水田で耕作を続けている。行政区長は2022年から務め、1期目。行政区を守るべく試行錯誤を繰り返している。

戦前から葉タバコの生産が盛んであり、畑の大部分や、転作した田んぼで栽培していた。昭和44年に松塚の基盤整備が終了したことに伴い松塚葉タバコ生産組合（通称：松塚協業）を始めた。ただ法人での耕作の困難もあり、10年ほどで組合は閉じたが、それまで各戸で生産されていた葉タバコを法人化して生産するようになったのは福島県内でも初めてだったようである。タバコのほかにも水田協業や草地利用組合を作って、山林を切り開いた牧野を活用していた。また、飯館の寒暖差の激しい気候を活かした花の栽培や養蚕業も行っていた。他の行政区同様戦前まで馬の飼育を行っており、戦後は和牛の生産も始められた。繁殖農家が多くを占めていた。

12～3月は農閑期のため、村外に出稼ぎに行く人も多かった。また、兼業農家も多かった。田植え踊りや盆踊り、夏祭りが行われていたが、事故前から既に人口も減っており、数年に一度の開催となっていた。

溜池を利用した釣り堀が開設されたこともある（1998年頃）。

白石小学校が現在の位置に移るまではグラウンドが狭く、関根松塚行政区内の広いグラウンドまで数キロ、机や椅子を子供が担いで歩く光景が見られた。

農業を実際に営んでいる家は10戸ほどである。県道12号線に面していることから交通の便はよく、帰還率は比較的高い。畜産農家による大規模畜産が2017年から開始され、行政区内の多くの休耕田を借りて牧草を作っている。最近では、水田を放牧地として使う先進的な取り組みを福島大学などとも連携しながら行っている。カスミソウやトルコキキョウ、アルストロメリアなど、花卉栽培に精力的に取り組んでいる花農家もいる。

年に一度、日帰りでブドウ狩りやサクランボ狩りといった旅行を行い、顔を合わせる機会をもうけている。

NTTファシリティーズが建設した、約6,600世帯の電気をまかなえるという広大な太陽光発電パネルもみられる。

店 事業所

牛の繁殖農家と食肉の注文販売を行う「株式会社ゆーとぴあ」が所在する。事故前には地名から名前をとった押口商店という商店も営業していた。



▲ 「ゆーとぴあ17」の復刻版3冊



▲ 関根・松塚の集会所

コラム

【ゆーとぴあ17】

ゆーとぴあ17は1980年5月1日に創刊された行政区の情報紙である。理想郷を意味する「ゆーとぴあ」と、地区の番号の17から取ったものである。2019年頃までは毎月、その後は2ヶ月に一度発行して住民をつなぐ大切な役割を果たしている。最初は「関根松塚活々集落づくり委員会」が、その後は行政区の広報部が担当している。

長い間手書きのスタイルが好評を博していたが、書き手の不足もあり最近では機械印刷をしている。事故前後の号を集めた復刻版第3巻では、建て壊す前の家の姿を写真にとどめ各家庭の系譜をまとめた。近年は生活場所が離れていることもあり書き手の確保には苦労している。

▼ 牧草地と放牧される牛（図中央やや右上に見える黒い動物2匹）
右端には牧草ロールも見える



▼ 神社とのぼり しめ縄とのぼりを掲げる。のぼりは木製で人力で立てる。



人口

51人

最新（2020年）

1983年 263人

1998年 246人

2011年 188人



▲ 関根・松塚の山から行政区を一望する かつては山頂まで登山道があったが、管理の問題もあり最近撤去された。田んぼ右側に見える大量の黒い物体は太陽光発電パネル



▲ 谷地向附近
▼ 見晴らしの良い高台へとつながる道
一つ前の見開き頁の扉写真はこの上から撮ったもの



▲ 関根の新田川の平野
▼ 村道と白石をつなぐ2車線道路

